

Twitterで、動画ツイートとして投稿する宣伝用ボイス。

そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

シチュエーションとしては前日譚と本編の中間。

主人公とイヴは交際を始めており、すでに深い関係になつている。

主人公は、今日もイヴ宅に泊まる予定。

到着予定期にはまだ早いが、イヴは待ちきれないので、電話をかけてきた。というイメージ。

しかし『電話をしているシーン』ではなく『電話っぽいシチュエーションのシーン』なので、実際の電話では起きないような事も起こる。

もちろん両側から音声が聞こえるし、電話加工も行わない。

「【優しくゆっくりと。】ごとに区切つて、ほんの少しだけ間をあける。

留守番電話に吹き込むようなイメージで。

あるいは、相手がわからないまま電話に出た主人公に『イヴですよ』と優しく教えてくるイメージで。

『連絡先を知つている相手に対してもフルネームを名乗る』というのは、現実的には、考え方によいシチュエーションである。

だが、宣伝用なのでそのあたりは考慮しない

先生。私だよ。イヴ。広末（ひろすえ）イヴ。

【優しくねぎらう】

今日も学校お疲れ様

主人公、イヴからの連絡が嬉しい。大喜びで返事をする。

（主人公）

「イヴちゃん！ 連絡ありがとう！」

あのね、今向かってるから。もう少しでつくよ！」

「嬉しくて、声が少しだけ弾む。

主人公があまりにも嬉しそうなので、自分も嬉しい
もうそろそろ着きそう？

【優しい声に加えて、楽しい事を耳打ちするイメージで】
早くおいでね。先生の好きなおかず、作つといたから】

主人公、ますますきやつきやとはしゃぐ。イヴはそれが、可愛くてたまらない。

〈主人公〉

「わあ、すっごい楽しみ！ 早く食べたいなあ」

「嬉しくて、声が少しだけ弾む。

主人公がとても嬉しそうなので、自分も嬉しい】

今日も泊まつていくでしょ？

【なので、『もつと喜ばせたい』と思い、主人公が喜びそうな事を列挙していく。

だが、それは結果的に『自分が喜ぶ事』になっている】

うち来たら。ご飯食べて、ゲームの続きを、一緒にお風呂入つて。
ぎゅーつてくついて寝ようね。

【ここで『これでも十分楽しく充実した時間になるだろうが、主人公をどきどきさせるためには、まだ少し足りない』と気づく。

そこで『とびきり刺激的な事を言つてやろう』と考える】

それから。

【少し間をあけてから。ぼそっと。照れて。】

語尾は上がらず、フラットに言う。

すぐに『とびきり刺激的な事』を思いついたものの、それを言うのはやはり恥ずかしい。

『恥ずかしい事』というのは『えちな事』という意味】

※聞き手を特にドキッときさせるイメージでお願いします

……恥ずかしい事も、しょ】※

〈主人公〉

「……！」

主人公、驚きと興奮のあまり、思わず無言になる。

だが、露骨に大きく息をのんだり、ごくんとつばを飲み込んだりしたため、イヴには主人公の気持ちが、すべてお見通しである。

【照れつつも満足げに。

主人公がわかりやすく息をのみ、興奮している様子なので満足している。

『恥ずかしい事を言った甲斐があつた』と思つている】

じゃあ、楽しみに待ってるよ。

【少し間をあけてから。

嬉しそうに。自分の言葉一つ一つに喜んで、良いリアクションをする主人公が可愛くて、
愛おしくて仕方がない。

イメージとしては語尾に『♥』がつくが、語尾は上げない。フラットな発音で言う

……大好き

ここでフェードアウトして終了。